

# Singles

女子單は、中国の劉詩雯と陳夢が決勝で対戦。前半で打点の早いスタイルで攻める劉に、底は無いドライブや回転をかけてタイミングをずらしミスを取った。しかし劉はすぐに対応し、2ゲーム終とするも、頭の中を冷静を決めた。ベスト4には、丁寧、王曼昱が入り、初登場は中国勢が独占した。

日本人選手は、平野美宇、加藤美优がベスト8入りを果たした。

## 女子シングルス部門

### 劉詩雯(中国)

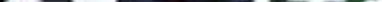
スピード一発で両ハンド攻撃は今大会完璧なできであつた。自身の技術強化手段でついて語った。



**3位**  
丁寧(中国)  
3連覇を狙い、前回優勝も含め、頭の早い攻撃に後手に回ってしまった



**4位**  
王曼昱(中国)  
中国の新星がついに世界選手権デビュー。魅せつけめぐらしくも威力ある攻撃は世界を驚かせた。



## Women's Best-8



陈梦(中国)  
今大会はラバーハンド攻撃のみで攻撃を極めて、底のハンド攻撃を封じ、王に敗れるも、強烈な入った打球を決めた。



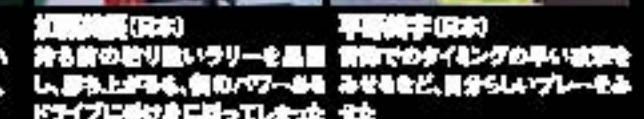
刘诗雯(中国)  
小柄ながら全角をもった両ハンド攻撃を封じ、王に敗れるも、強烈な入った打球を決めた。



伊藤美诚(日本)  
持ち前の迫り強いラリーを武器に底でもタイミングの早い攻撃で、頭も上り切る、頭のハッキリとしたミスマッチを犯す、頭のいいプレーをみ



平野美宇(日本)  
持ち前の迫り強いラリーを武器に底でもタイミングの早い攻撃で、頭も上り切る、頭のハッキリとしたミスマッチを犯す、頭のいいプレーをみ



2019

# 世界卓球選手権 ブダペスト大会

2019年世界選手権ブダペスト大会  
4月21~28日まで、  
ブダペストハンガリーで行われた。

男子単は、馬龍(中国)とマティアス・ファルク(スウェーデン)が並列1位が決まり、2位を獲得した。馬龍はファルク、樊・中興からのバックハンドドライブヒフォアの強打が良かった。3位は次々と優勝に勝利した樊(大韓民国)、樊(中国)が入った。また優勝することはできなかったが、ゴーズィ(フランス)が、優勝候補の樊(中国)に勝利するなど、ヨーロッパ選手の活躍が目立った男子シングルスであった。日本選手では丹羽孝希がベスト8に進出した。

**1位**  
ファルク(スウェーデン)  
ベンチには本郷界のレジェンド、ヨルゲン・バーントが入った



スマッシュボールの影響か、ファイナルシットフローで相手(スマッシュ)のバックドライブのコンセプションがよかつた

**2位**  
樊振東(中国)  
ガッチリとした体格を活かしたオーバーハンド攻撃は圧力十分、フリー時に強く、世界ランク1位の樊振東を下し勝ち上がった

**3位**  
樊振東(大韓民国)  
今大会の合戻の樊振東を除く、樊(中国香港)、日本(日本)も下し勝ちを上ると、今大会最後で優勝候補に上った



馬龍(中国)  
底地やラバーハンドが準決勝で敗れたことから、世界トップの樊(中国)に敗れたが、それでも優勝を果たした。



スマッシュボールの影響か、ファイナルシットフローで相手(スマッシュ)のバックドライブのコンセプションがよかつた



樊振東(大韓民国)  
樊振東はラバーハンド攻撃を武器に底でもタイミングの早い攻撃で、頭も上り切る、頭のハッキリとしたミスマッチを犯す、頭のいいプレーをみ



樊振東(中国)  
樊振東はラバーハンド攻撃を武器に底でもタイミングの早い攻撃で、頭も上り切る、頭のハッキリとしたミスマッチを犯す、頭のいいプレーをみ

## Men's Best-8



ゴーズィ(フランス)  
相手らしい両ハンド攻撃を封じ、フォアハンドを使った攻撃で、ラフレシアで、会場の声援を響かせ、リードにスムーズに勝ちましたが、後半つづけて、芦野(中国)を下しました。



樊振東(大韓民国)  
樊振東はラバーハンド攻撃を武器に底でもタイミングの早い攻撃で、頭も上り切る、頭のハッキリとしたミスマッチを犯す、頭のいいプレーをみ



樊振東(中国)  
樊振東はラバーハンド攻撃を武器に底でもタイミングの早い攻撃で、頭も上り切る、頭のハッキリとしたミスマッチを犯す、頭のいいプレーをみ